

2015年11月特集号

「軽金属材料の成形シミュレーションの高精度化技術」

原稿募集

「軽金属」では、2015年11月号に標記の特集号を予定しております。2014年11月に東京工業大学で開催の第127回秋期大会のテーマセッションをさらに発展させたもので、テーマセッションでのご講演の内容をまとめた論文をはじめ、標記テーマに関する研究論文、解説、研究ノート、技術報告、新技術紹介など数多くの投稿を期待しております。原稿の募集要領は下記のとおりです。なお、採択・掲載までの過程は、一般の投稿に準じて編集委員会にて進めます。

【特集号趣旨】

自動車等輸送機は、地球環境問題への対応から、低燃費化・CO₂排出量の低減が課題となり、その対策の一つとして車体の軽量化が進められている。車体軽量化のために従来の鋼板からアルミニウム合金等の軽量素材の適用が進められている。一方、車体部品は、意匠性や安全性の問題から複雑な形状を求められるようになった。この複雑形状化した部品を取得するため、シミュレーションを有効活用する技術が進んでいる。シミュレーション技術は、金型設計からプレス成形し、部品取得までの時間短縮化に有効であるとされている。アルミニウム合金等軽金属材料の板材は、鋼板と比べ成形性は劣り、鋼板と同様の材料モデルを活用するだけでは、忠実に成形挙動を予測することができず、成形不具合を完璧に予測することはできていないのが現状である。アルミニウム合金等軽金属材料板の成形予測の精度向上は、それぞれ材料の持つ特有の材料モデルを見出すことが必要となる。アルミニウム合金等軽金属板材の成形シミュレーションに用いるための材料モデル、集合組織の適用、組織的観点からの成形性向上技術等成形性評価シミュレーションの高精度化のための最新基礎・適用・応用技術研究を広く募集する。

【特任編集委員】

櫻井健夫（株式会社神戸製鋼所）、桑原利彦（東京農工大学）、宇都宮裕（大阪大学）、西田進一（群馬大学）、山中晃徳（東京農工大学）

【原稿募集要領】

募集原稿：研究論文、研究ノート、技術報告、解説、新製品/新技術紹介

投稿締切：2015年5月20日

原稿は、本誌投稿規程ならびに執筆要領に従って、投稿審査システムを通じて投稿して下さい。また、原稿は特集号への投稿であることがわかるように備考欄に「特集号」とご記入下さい。

【投稿予備登録】

投稿予定者は、2015年3月31日までに、予備登録下さい。

「特集号予備登録」と題記して、①原稿の種類、②題目、③著者、④投稿予定日、⑤申込者の連絡先（〒、住所、所属、e-mail アドレス）を明記の上、E-mail で下記までお送り下さい。

【問合せ先】

一般社団法人軽金属学会 編集委員会 事務局

Tel(03)3538-0232 Fax(03)3538-0226 E-mail : kimura@jilm.or.jp